

“農”と“人”をつなげる

# わ 和歌山が人 かやマガジン

2026.4  
Vol.19



近畿農政局 和歌山県拠点って  
合同庁舎の **5F** にあるけど…

和歌山地方合同庁舎  
(和歌山市二番丁)

<アンケートは[こちらから](#)>  
(所要時間:3分程度)

農林水産省  
近畿農政局和歌山県拠点



「こんなのが  
読みたい!」  
「あれ面白かった!」  
などのご意見や感想  
お待ちしております!



# 近畿農政局 和歌山県拠点



## って何してるとこなん？

～和歌山の「困った」を霞が関に届けます～

いつもの食卓に並ぶ、ごはんとおかず。何気ない一皿の向こうには、地域の農林水産業を支え、毎日のおいしい食卓を守る、いちばん身近な農林水産省の窓口があります。それが、近畿農政局 和歌山県拠点。“食”と“農”を常に支える大切な役割を担っています。

### 「つなぐ」仕事

#### 生産者と意見交換

現場で伺った生産者の意見や課題を中央に届け、制度の活用などを提案しています

#### わかやま農業女子ネットワーク

情報の提供や交流会の開催を通じ、女性農業者同士のつながりをサポートしています

皆さまの「困った」は、私たちにお任せください。



地方参事官室職員

### 「まもる」仕事

#### 和歌山の農業、今も未来も

担い手不足や鳥獣害等の課題を共に解決し、新規就農者の支援等にも取り組んでいます

#### 生産・経営所得安定対策

経営所得安定対策の実施、米政策や水田フル活用の推進にかかる業務を実施しています

和歌山の  
水田農業を  
お支えます！



生産・経営所得担当職員

### 「広める」仕事

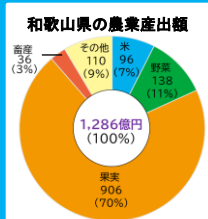
#### 出張講座

将来を担う子どもたちに、日本の食や農業の大切さを職員が伝えます

#### 統計

農林水産業の実態を数値化し、和歌山の食と農の発展につなげます

実は、お子様の自由研究に役立つデータもあります!!



統計担当職員

#### 【アクセス】



農政に関するご相談  
ご意見をどうぞ

地方参事官ホットライン

電話番号 073(436)3831

メールでのお問い合わせは[こちら](#)



和歌山県拠点

ウェブサイトは[こちら](#)



近畿農政局 和歌山県拠点は、生産者と農林水産省、消費者の架け橋として、皆さまに寄り添い、地域の農業を支えるため、これからも情熱を持って走り続けます。

# 第2回みどり戦略学生チャレンジ近畿大会 「優秀チャレンジ賞」おめでとうございます！！

農林水産省では、若い世代による環境負荷低減のための取組を促すため、「みどり戦略学生チャレンジ」を地域ブロックごとに開催しています。

第2回の近畿大会では、和歌山県から3校が表彰されました。

## 加工・流通



### 和歌山県立神島高等学校

「梅の魅力を伝えたい!!～地元で愛される「梅やきとり」を全国のみなさんに～」 発表資料は[こちら](#)



## 加工・流通 消費



### 和歌山信愛短期大学

「しいたけの廃棄部分の活用方法」 発表資料は[こちら](#)



## 生産



### 和歌山県立南部高等学校

「食品循環資源を利用した野菜栽培の検証」 発表資料は[こちら](#)



未来の日本を担う学生の皆さんは、まさにみどり戦略の主役。日本の食料・農林水産業をリードするために、環境にやさしい取組にチャレンジしてみませんか

## わ女子ネット(わかやま農業女子ネットワーク(※))交流会の開催

令和8年3月5日、近畿大学附属湯浅農場で「わ女子ネット交流会」を開催しました。近畿大学教授の佐藤明彦氏による講演では、参加者が熱心に聞き入り、メモをとる様子が見受けられました。

講演後には、アボカドやマンゴーの園地を見学し、栽培状況について理解を深めました。

参加者の児玉聡美さんは「皆さんと楽しく聴講し、見学もでき有意義でした」と話していました。

※県内の女性農業者のつながりを広げ、情報の交換や連携の強化を目的としたプロジェクト。



参加者の質問に答える佐藤教授(右)



わ女子ネットのフォトレポートは[こちら](#)

## 和歌山第1号！にんにく栽培をスマート化

### 株式会社ヨシムラファームが認定されました

紀の川市の株式会社ヨシムラファームが、スマート農業技術活用促進法に基づき、和歌山県で第1号(近畿では第4号)となる生産方式革新実施計画の認定を受けました。

同社はにんにく栽培で、自動操縦トラクターやICT技術を先行導入し、手作業中心だった工程の自動化・省力化を実現。高品質なにんにくの安定生産に取り組んでいます。

最先端技術で、農業の可能性を広げる同社の挑戦は、地域の生産性向上を牽引する先進事例として、大きな期待が寄せられています。



認定証を示す吉村代表取締役(左)

近畿農政局による認定発表の記事は[こちら](#)





# 自然とつながる、心地よい暮らし。Kusatiへようこそ



Kusatiオーガニックファーム  
オーナー 篠崎陽子です。  
橋本市で心地よい農業を営ん  
でいます。

心地よい農業とは？



自分の心地よさと、多様な生命が  
共生する畑で、自然のバランスを  
壊さないように栽培しています。

素敵な取り組みですね！私たち  
も体験することはできますか？



月2回「たねつちごはんワツカ  
の森」という、ワークショップ  
を開催しています。

どんな事を体験できますか？



畑の野菜で料理したり、  
醤油や味噌造り、石窯ピザ  
を作ることも！  
他にも、野の草で布を染め  
るなど、親子でも楽しんで  
いただける手仕事盛り  
だくさんです。



お気軽にお問合せくださいね！

Kusatiオーガニックファームの  
ウェブサイトは[こちら](#)  
(外部リンク)



橋本市にある「Kusati(クサティ)オーガ  
ニックファーム」は、在来種のタネを守りなが  
ら100種類以上の作物を育てる農家です。  
オーナーの篠崎陽子さんは、味噌や醤油造  
り、野草の活用など、暮らしと仕事が地続き  
となる生き方を実践しています。

篠崎さんは、地域の学校給食にも関わり、  
「紀州っすら食べてよ会」で地元の生産者と  
ともに子どもたちの食を育てています。

また、春と秋に「タネの交換会」を開いてい  
ます。初心者でも気軽に参加でき、交流を通  
じてご縁が広がるそうです。参加をきっかけ  
に畑づくりを始める人もおられるとか。

訪れた人が「こんな暮らしもいいな」と感じ  
られる、やさしい時間が流れる場所です。



飼っているヤギが畑の雑草を食べてくれます

詳細は[フォトレポート](#)からご覧ください→



## 農林水産省のWebマガジン「aff」をご紹介します！

aff3月号は、家庭備蓄の特集です。

普段の暮らしの中において、少し工夫するだけで、  
災害時に役立つ家庭備蓄のイロハを紹介します。

連載コラムは、「今日から使える 花知識」。  
花贈りのマナーとして、シーンに合わせた花選びや  
意外と知らないワンポイントを掲載しています。



農林水産省の  
Webマガジン「aff」は  
[こちら](#)から！

発行・編集

近畿農政局和歌山県拠点  
〒640-8143 和歌山市二番丁3 和歌山地方合同庁舎5階  
TEL:073-436-3831

バックナンバーは[こちら](#)から

